

令和3年度学校経営方針概要（改） 【大宮中コンパス】

令和3年4月2日

杉並区立大宮中学校校長 関田誠

教育目標（１）心身とも健康な人 （２）自ら学ぶ人 （３）他を思いやる人 /（Ｃ組）すすんで学ぶ人 心とからだの健康な人 思いやりの気持ちのある人

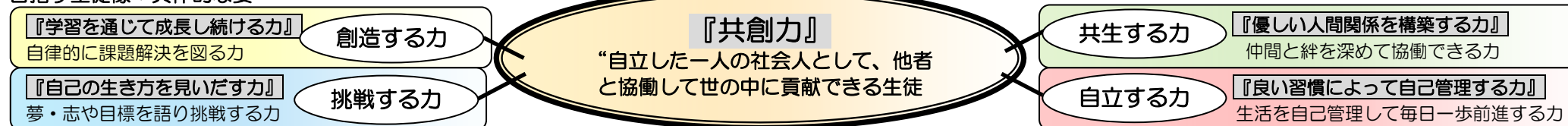
大宮中精神：優しさをもって、自らの夢や目標に挑戦を続ける大宮中生であれ！』

大宮中では、優しさをもって「つながり」に学び「絆」を深めながら、自己の可能性を見出し、夢や目標を掲げて挑戦を続ける生徒を育む。「自分の力を育ててくれた大宮中、杉並区を愛する」ことを、誇りをもって語れる生徒を育てる教育活動を行う。保護者・地域と信頼関係を構築し、将来、社会の一員として活躍する生徒を共に育てる。

目指す学校像：（１）しなやかな心と体を鍛える学校 （２）自己と向き合い学ぶ意欲を育てる学校 （３）つながりに学び絆を深める学校

『魅力ある学校とは、結局は良い授業が展開される学校である。時代が求める良い授業像を皆で探究する学校でありたい』

目指す生徒像：具体的な姿



目指す教員像：（１）生徒がわからない事をわかるようにできる人 （２）良い生活習慣・学習習慣を身につけさせる人 （３）生徒に常に寄り添い共感的に応援できる人

目指す職員室：（１）学ぶ教職員が学ぶ生徒をつくる職場（２）常に協力し支え合い、笑いの絶えない風通しの良い職場（３）整理整頓を心がけ働き方改革を進める職場

教育目標達成のための4本柱…『6つのゼロ』目標

大前提：コロナウイルスに罹患しない予防力の養成 ①新しい学習環境の構築への意識転換 ②3密場面の低減の徹底を図る ③罹患者への応援、支援の心情の醸成

『授業を通じて学び続ける力』の習得…学習無気力ゼロ ① 『全員に基礎・基本の徹底』＋『出来る生徒を飽きさせない発展的学習』を踏まえ、生徒が能動的に学ぶ楽しさの習得。【主体的・対話的な深い学びの視点】 ② TPC導入による個別最適な学び、協働学習、オンライン学習、情報モラル教育	『優しい人間関係を構築する力』の醸成…いじめ見逃しゼロ・不登校対応 ① 人権教育の徹底を図り、いじめや暴力のない温かい人間関係の醸成。 ② 通常学級と特別支援学級の交流学習を通して、相互理解の醸成。 ③ 感動を伴う学校行事、生徒会活動により、成就感、達成感、自己有用感の醸成。
『自己の生き方を見出す力』の育成…夢や目標なしゼロ・読書不読率ゼロ ① 体験活動・講演会や講話の充実を通して、望ましい職業観・勤労観の育成 ② 全ての生徒が将来の夢や目標を見出し生活する、将来設計力の育成 ③ 読書習慣の形成で『学ぶ意味』を踏まえた社会貢献の心の育成 ④ ボランティア活動の取組による奉仕の精神と自己有用感の育成	『良い習慣で自己管理する力』の定着…家庭学習未定着ゼロ、忘れ物未提出ゼロ 『DOノート、連絡帳（C組）』に全校体制で取り組み、見通しと振り返りの力定着。 ① 備忘録として、『忘れ物・未提出ゼロ』の意識の定着。 ② 自主学習『計画・実行・振り返り』の定着。（例）1年1h、2年2h、3年3h ③ 日記・メモ欄を活用させ、夢や目標の実現に向けた取り組みの定着。

『学校の応援団組織』 学校運営協議会（CS）・学校支援本部・地域教育連絡会の活動を通して、本学区の地域住民の願いを叶える学校をつくる。

・学校運営協議会（CS）…教育課程、学校経営計画の承認、委員・生徒・保護者の意識調査、学校関係者評価の実施、広報だより、教職員・PTA・生徒会本部との懇談等。

・学校支援本部の活動…学校運営に協力できる地域の人材の紹介。放課後学習教室『なでしこ塾』、土曜英語、プログラミング教室、英検実施担当、地域行事の見守り 等

『小中連携』の推進 小中未来サミットの活動を通して、学校や地域の課題を生徒児童自らで考えることで、小中学校の連携を深めていく。

『DOノート』活用の推進 A（Ambition 夢・志）⇒P（Plan 計画）⇒D（Do 実行）⇒S（See 振り返り）サイクルを生活習慣に構築させる学年ごとの取り組みの工夫。

『教室の新聞活用』 新聞に関心をもたせ、世の中の事象に対する情報に触れさせる。ある程度の長文の記事を、生徒に読ませる工夫を検討して、各学年・学級で実践する。

『土曜授業カジュアルデー』 7月から防暑対策、個性化・多様化の観点から私服着用日とする。同時にノーチャイムデーを実施し、自主自立（時間厳守）の感覚を高める。

